

【事例17】 工賃向上に向けた取組

施設名	Dr's ハーブラボ（日立市東滑川町）		
設置者	医療法人永慈会		
定員	10名		
利用者数	25名		
平均月額工賃の推移 （ ）は旧計算式	R3：16,771円	R4：18,188円	R5：59,813円 (20,507円)
主な作業内容	菓子類の製造・販売、施設外就労（清掃）		

工賃向上に向けたアドバイス

■ 障害者施設だが「商品・材料にこだわる一つのお店」の意識を持ち、適正な価格で販売することが重要

- ・ 添加物は使用せず「体にいい」商品にこだわり⇒「美味しい商品・安全安心な商品」をお客様に届けたい
- ・ 積極的なPRはしていないが、口コミで広まるとともにリピーター客も多い
(障害者施設と知っているお客様は少ない印象)

その他

(菓子の製造・販売)

- ・ 職員・利用者を問わず、誰でも作業に従事できるようマニュアル（レシピ帳）を作成
- ・ 菓子作り以外にも、商品のシール貼りやパック詰め、ハーブの調合など障害の程度に応じた作業を用意
- ・ 販路確保のため、系列会社が運営する都内店舗でも販売

(施設外就労)

- ・ 系列施設（病院、介護施設、スポーツ施設等）の清掃作業に従事
(例：廊下、トイレ等共用部分の清掃)
- ・ 利用者の清掃作業を通じて、職員の負担軽減はもちろん、障害者に対する理解促進にもつながっている



「安全安心」が商品の売り

施設外観



施設内①



施設内②



系列施設（フィットネスクラブ）の
清掃作業



菓子作りの様子

